

# 消防団定期観閲式

現在、つがる市消防団は56分団、消防車両80台が配備され、1158人の団員が消火栓や消防ポンプの管理、消火訓練などを行いながら、災害に備えています。6月17日、イオンモールつがる柏で定期観閲式が開催されました。



規律正しい分列行進を披露する消防団員



式典後の玉落競技大会



機敏な動きで車両を点検



式典に花を添えたラッパ隊の演奏

## ◆総合成績

(服装・機械器具点検、分列行進)

- 優勝 柏大隊
- 第2位 森田大隊
- 第3位 稲垣大隊

## ◆玉落競技大会(優勝)

- ・50馬力以下 12秒01  
木造第6分団第1部(石館)
- ・51馬力以上85馬力以下 18秒21  
木造第3分団第2部(今市・豊田)
- ・86馬力以上 22秒90  
車力第6分団(富湾)

式では、福島市長の観閲の下、服装点検、機械器具点検、分列行進が行われ、消防団員らが日頃の訓練の成果を披露。審査の結果、規律厳正な動きを見せた柏大隊が7年連続の優勝を飾りました。また、幼年消防クラブ(かしわあつぷるこども園、かしわこども園児)が、消防団員に負けじと元気な行進や機械器具点検、消防操法などを実演し、会場を盛り上げました。

続いて式典では、永年勤続功労者など222人の消防団員が表彰されました。福島市長は「地域防災の中核として、消防団の役割はますます重要になっていく。団員相互の結束を強化し、一層のご誠心をお願いします」と消防団員を激励しました。



火の用心を呼びかけるかしわあつぷるこども園の園児



元気な機械器具点検を見せたかしわこども園の園児

# 豊かな自然と歴史をめぐる 定期観光バスツアー



ボランティアガイドと共にベンセ湿原を散策するツアー客



縄文館居展示資料館 (カールゴ)



高山稲荷神社の千本鳥居



森田歴史民俗資料館



明治11年(1878)栽植、日本最古のりんごの木



最終氷期埋没林の地層に興味津々

市内の観光名所を巡る定期観光バスツアーが5月29日から6月15日まで運行されました。

初日、市役所前で行われた出発式には、ツアー客や関係者ら約40人が参加。主催者である市観光物産協会の川嶋大史会長が歓迎のあいさつをした後、関係者一同に見送られながらバスが出発しました。

ツアーは、ニッコウキスゲが咲き誇るベンセ湿原をメインに、千本鳥居で知られる高山稲荷神社や日本最古のりんごの木、縄文文化の資料館な

ど、市の自然や歴史に触れられる日替わりの2コースを用意。参加者は、知識豊富なボランティアガイドの解説に耳を傾けながら、豊かな自然や歴史のロマンを肌で感じました。

初めて参加したという青森市の女性は「ベンセ湿原のニッコウキスゲは見応え十分。日光市の群生にも負けない」と満足げ。市内から参加した女性は「縄文の資料館では、発掘時のエピソードなど普段聞けない話が興味深かった」と楽しんでいました。